



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第10回例会(9月13日)  
平成25年9月20日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)  
FAX(653)5622  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 平井 滋  
幹 事 平野 佳則  
会 報 金子 真也  
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. "ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を"…… Ron D. Burton



ゲスト卓話

## 「フランス留学報告

### —ロータリー国際親善奨学生としての私の経験—

2012-13年度 国際親善奨学生  
佐々木 裕子 様

盛岡ロータリークラブの皆様、こんにちは。  
昨年8月にロータリー国際親善奨学生として、フランスに派遣され、1年間の留学生活を経験しました。本日は、ロータリー国際親善奨学生としての私の経験をお話させていただきます。

日本を出発する前は、観光ではなく初めての長期海外生活ということで、フランス語で授業を受けることへの不安やパリで生活できるかなど、さまざまな不安と期待を抱えてのスタートでした。しかしながら、素晴らしい人々にめぐまれ、研究でもプライベートでもこれ以上はない貴重な経験をさせていただきました。まず初めに、このような機会を与えていただいた事に感謝の気持ちを申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

#### 1. 私の留学生活

それでは、私の留学生活全般について、お話させていただきます。

私の留学先は、フランスのパリにあるパリ第3大学、通称ソルボンヌ＝ヌーヴェルといわれる大学でした。ロータリーの受入地区は、パリの一部とオード＝セヌ（Hauts de Seine）県を含む国際ロータリー1660地区です。私は、シャヴィルという、パリ市内とヴェルサイユの

中間点に位置するシャヴィル（chaville）という町のシャヴィルロータリークラブに受け入れていただきました。担当カウンセラーのアランさんは、今は退職しましたが、1994年、イル＝ド＝フランス地方のお菓子コンクール、ガレットデロワ部門でグランプリを獲得したほどの名職人だったようです。パリに到着して2日後にはアランさんに連れられ、オード＝セヌ県のパンコンクールの審査員をするという、なかなかできない体験もしました。アランさんには、留学直後の3ヶ月間、アメリカ人の財団奨学生と共にホームステイさせてもらい、大変お世話になりました。

パリ第3大学は、キャンパスが、パリの中心、ノートルダム寺院とリュクサンブール公園の間にあり、観光客もやってくるほどの歴史的な建築物で素晴らしいキャンパスでした。大学界限は、古本屋や小さな映画館、カフェなどが多く、落ち着いていながらも活気ある地域でした。大学のセミナーを終えてから、大学の界限を散歩するのがとても楽しみでした。大学のセミナーには、イタリア、オーストリア、ドイツ、スペインからの留学生もいて、それぞれの文化、社会事情を背景に、文学を通して社会問題について考え、共に議論できたことはとてもかけがえ

のない貴重な経験でした。

受入れロータリークラブがあり、私が最初の3ヶ月間住んだシャヴィルという町は、人口2万人弱ほどでパリ郊外に位置し、閑静な住宅街が広がる町でした。私の受入れロータリークラブであるシャヴィルロータリークラブは、15人ほどの小さなロータリークラブでした。毎週水曜日の夜8時から例会がありますが、私もほぼ毎週のように参加し、沢山のロータリアンとお話する機会に恵まれました。

フランスでは、食べ物、漫画、盆栽など、幅広い年齢層からさまざまな視点で日本文化に興味を持っている人が多いと感じました。

今は、日本食が人気で、あちこちに寿司、焼き鳥などが食べられる日本食レストランがありました。一度友人と日本食レストランに入りましたが、テーブルには醤油と砂糖醤油が置かれていて驚きました。フランス人にとってお醤油は強いようで、フランスの一般的な日本食レストランには、お寿司用に醤油と砂糖醤油を置いているそうです。

日本のお酒に興味を持つフランス人もだんだん増えてきているようで、今年の6月パリでは、「第1回日本の酒試飲会」が行われていました。私も参加しましたが、入り口でワイングラスを渡されて、ワイングラスで日本酒、ウイスキーを試飲してきました。会場は、フランス在住の日本人やフランス人ととてもにぎわっていました。

## 2. 国際親善奨学生としての活動

次に、ロータリー国際親善奨学生として、私が行った活動についてお話したいと思います。

去年の11月23、24日は、フードバンクのイベントに参加しました。これは、シャヴィルロータリークラブが毎年参加しているイベントで、この期間は、フランス全土でフードバンクのイベントが行われる日となっています。シャヴィルでは、イル＝ド＝フランス地方の貧しい人た

ちのために、スーパーマーケットの中で、買い物をしてきたお客様に、パスタ、ビスケット、チョコレートなど保存可能な食糧を買ってもらうようビニール袋を手渡ししながら呼びかけました。私が参加した2時間ほどでも沢山の人が食糧を買って寄付して下さり、私は東日本大震災時、被災地での食糧支援のことを考えながら活動していました。

2月13日、フランスの受入れロータリークラブであるシャヴィルロータリークラブの例会で、初めてのプレゼンテーションを行いました。15分という限られた時間でしたので、用意していた内容を変更し、主に東日本大震災のことをお話しました。フランスでは、福島の問題をテレビや新聞でよく取り上げられていましたが、津波で被災した地域のことは、あまり取り上げられていませんでした。盛岡ロータリークラブの矢後さんからプレゼンテーション用に頂いた津波のビデオを流しましたが、衝撃的な当時の津波の映像に、ショックを隠せない様子で、発表後、沢山の質問を受けました。答えられない質問などもあり、震災の状況、現在の状況、今後の見通しなど、私自身東日本大震災のことをもっと勉強しなくてはいけないと思いました。

2月16日は、シャヴィルロータリークラブが毎年主催しているロトというゲームイベントに参加しました。ロトというのは、日本でいうビンゴゲームのことで、勝者たちには豪華な商品が用意されています。今回初めて知りましたが、フランスでは、地域の住人たちでロトを楽しむ習慣があります。市民会館の大広間を貸し切ったイベントでしたが、18時の会場前から、子供からお年寄りまで多くのシャヴィル市民が待ちきれない様子で待っていました。ゲームが始まると、子供も大人もみなロトに熱中していて、シャヴィルのロータリアンたちと共にロトを楽しむシャヴィル市民の姿がとても印象的でした。

3月23日は、国際ロータリー1660地区の地区大会に参加しました。各ロータリークラブが、自分たちの奉仕活動について紹介していた場面がとても印象的でした。アフリカのストリートチルドレンを支援する活動、地元でのクラシックコンサート企画、アフリカの貧しい地域に学校を建設する活動など、それぞれのロータリークラブが地域レベルで、国際レベルで、どのような奉仕活動を行っているのかを知ることができ、とても興味深かったです。

4月26日～29日は、フランス在住の奨学生達とシャンパーニュ地方にあるエベルネという町を訪れました。これは、エベルネロータリークラブがフランスにやってき奨学生のために50年以上も続けているイベントで、シャンパーニュ地方の文化や歴史を知るとも素晴らしい機会でした。エベルネ駅に到着するとエベルネのロータリアンが温かく迎え入れてくれ、エベルネ役場に移動し、エベルネ市長さんから歓迎の言葉を頂きました。エベルネロータリアンたちと共に、シャンパーニュの工場を見学したり、世界遺産に登録されていて、ゴシック様式の傑作の一つといわれるランスの大聖堂を訪れたり、シャンパンを発明したと言われるベネディクト会修道士ドン・ペリニオンが暮らしていた修道院などを訪れました。夕食会では、ロータリアンから事前に10の言葉を用意されていて、フランス語で10行の詩を作り、その詩を奨学生が披露するという楽しい企画もありました。おいしいシャンパン、食事と共に、エベルネロータリークラブと楽しいひと時を過ごしました。シャンパーニュ地方の魅力、そして何よりもエ

ベルネロータリークラブの温かいおもてなしを受け、思い出に残る素晴らしい週末となりました。

### 3. フランス留学を振り返って

このロータリー国際親善奨学金プログラムでの1年間のフランス留学を通じて大きな財産となったのは、ロータリーでの様々な活動を通して、留学先の文化や社会との出会いと共に、自国の文化や社会、価値観をも改めて見直す機会になったことです。例えば、フランスではバカンスや週末を大切にしている、日曜日は閉まっているお店が多く、バカンスで1ヶ月お休みになるお店もめずらしくなかったので、不便だなと感じることもありました。日本には、休みなく営業する24時間営業のお店の多いことを改めて実感し、便利ではあるけれど、フランス人の休日やバカンスを大切にする姿勢、人生を楽しむ姿勢からは学ぶことも多く、豊かさの本質は何かと考えさせられました。

この留学経験を通じて、学んだこと、考えたことを私自身の今後の進路に生かし、更なる国際理解に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

最後にこの卓話を終えるにあたって、私の留学を常にサポートしてくださった、今は鳥取にいらっしゃるカウンセラーの大山さん、米内さん、私のことを気にかけてメールなどで元気づけてくださった2520地区のロータリアンのみなさま、そして盛岡ロータリークラブの皆様へ深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

## 仙台支部会合 盛岡開催予告

仙台支部第3回目の会合開催に向けて日程を調整中ですが、8月9日の集中豪雨で被災された佐藤義正会員の激励も兼ね、ホテル大観に宿泊して開催すべく日程を調整中です。

日程的には、「10月18日夜」あるいは「11月1日夜」のいずれかで開催したいと考えています。決定次第改めてご案内いたします。その際は是非、本家の皆様のご出席をお願い致します。

盛岡RC仙台支部 小松敬一

### 例会報告

第10回例会  
平成25年9月13日(金)

於 川徳 12時30分 開会点鐘

- ・司会 平井 滋会長
- ・ソング 我らの生業
- ・四つのテスト斉唱
- ・ゲスト 佐々木裕子様(前年度ロータリー財団親善奨学生)
- ・ビジター 小西隆昭さん(会友)、田口絢子さん(盛岡北R.C.)
- ・皆出席バッチ 市丸清志君(1年)
- ・入会祝 市丸清志君。
- ・結婚祝 藤村文昭君。
- ・会長報告 平井 滋会長
- ・幹事報告 平野佳則幹事

#### 【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.=9月25日(水)は、夜例会実施のため18:30~ 時間変

更。

- 盛岡西北R.C.=9月25日(水)は、親睦夜例会のため18:45~「ベル・オープン」。

#### 【ニコニコBOX】

- ◆勝部民男君…小西さん、佐々木さんようこそお出で下さいました。今、紺屋町「よ組」の山車巡行に参加しています。紺屋町の大先達(無論ロータリーも)の平井冽さんを偲んでニコニコします。
- ◆長野隆行君…小西隆昭会友のご来訪を心から歓迎いたします。4年半前のクラブ創立70周年記念式典では、東京支部から多くの会友の方々にご出席を戴き、感謝の極みでした。深い友情に、改めて感謝申し上げます。
- ◆樋山桂君…先日8月30日、栃木県的那須ゴルフクラブにて本日ご来盛の東京支部小西会友をはじめ南部会友、中原会友、小出会友、

矢後会友そして盛岡より参加の小川会員、田中会員と共に「第1回南部杯」を開催し、因らずも優勝してしまいました。また副賞として南部会友よりゴルフクラブオリジナルのウェアを頂きました。次回ディフェンディングチャンピオンとしてこのウェアを着て参加する予定です。たくさんの皆様と盛大に第2回を開催したいと思っております。そして皆様の挑戦をお受けしたいと思います。

- ◆市丸清志君…入会1年を記念してニコニコします。

#### ●メークアップ

盛岡北R.C.=白石君。盛岡西R.C.=星・市丸君。盛岡東R.C.=樋山・菊池君。盛岡西北R.C.=佐藤(重)君。盛岡滝ノ沢R.C.=福田君。クラブ委員会=藤村・岡村・田中君。

#### 出席報告

会員数 / 69 名

出席数 / 42 名

出席率 / 64.62%

前々回修正出席率 / 79.37%

#### プログラムの お知らせ

- ・ 9月20日(金) ゲスト卓話 内宮 眞 様(勸日本ボーイスカウト岩手連盟維持財団理事長)「ボーイスカウトの人作り」
- 27日(金) 会員卓話 熊谷昭三 会員
- ・ 10月 4日(金) ゲスト卓話 北川貞之 様(盛岡地方気象台台長)
- 11日(金) 第2回クラブアッセンブリー
- 18日(金) ゲスト卓話 高橋嘉雄 様(盛岡農業高等学校校長)「盛岡農業高校の現状と課題」
- 24日(木) 秋の懇親会(25日例会変更)

●本号編集担当 / 高柳 一郎

●次号編集担当 / 金子 眞也